

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.25  
2009.1

くしろ丹頂



## 迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます

代表理事組合長	瀧澤 義一	井出 清澄	林 隆美
代表理事専務	成田 俊英	高橋 達雄	瀬戸 計見
信用担当理事兼参事	梶原 英光	齊藤 滋	阿部 博
理事	植田 晃雄	對木 範誉	齊藤 光兵
"	田井 愷	芳澤 政治	菅寄 通晴
"	大和田克清	松井 俊治	役職員一同
"	大碓 理男	代表 監事 尾田 猛	

次世代を担う育成牛たち(鶴居哺育・育成センターにて)

### CONTENTS

- 新年のあいさつ(代表理事組合長 瀧澤 義一) ————— 1
- 新年のあいさつ(北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章) — 2
- 新年のあいさつ(代表理事専務 成田 俊英) ————— 3
- 普及センターだより ————— 4
- 組織機構図 ————— 5・6
- 年始休業予定表・生乳生産実績 ————— 7



## 新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長

瀧澤 義一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員皆様、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えの事と重ねてお慶び申し上げます。

昨年の我が国の否世界の政治経済の動向は正に激動の一年でありました。特に農業・農村・農協を取り巻く環境は、激変の連続であり、その対応に振り廻された感拭い去れない、深く記憶に刻む一年となりました。酪農にとって経営収支の生命線となる購入飼料・石油・生産資材は高騰を続け、二十年度当初より値上げ改定された乳価では、生産費増嵩を全く補えない事から期中での再交渉を決定したのは昨年六月でありましたが、先行する飲用乳価格交渉が難航を極めた為、北海道としての全用途別乳価の決定は十一月十九日に開催されたホクレン生乳受託販売委員会でありました。その内容も二十年度最終となる二十一年三月分からということ、実質乳代受取りは四月からとなる訳で当初目指したところとは大きく離れたものとなりました。

しかし、時期が遅くなったとは云え、乳業各社が最終的に要求乳価に近い満額回答を行った決断、特に道内で生乳買入れ量最大のもつ葉乳業が先行回答し、雪印、明治、森永の大手各社が追随する形となったのは異例の事で、農協系メーカーであるもつ葉乳業の回答を足掛りに他メーカーの回答を引き出した指定団体ホクレンの交渉担当者紙面上で申し訳ないが、慰労の謝意を表しておきます。が、これで目出度し目出度しとなるかというところと全くそうではなく、苦難の道はまだ終わっていません。ここ三年に及ぶ生産資材の高騰は酪農経営の体力を奪い負債を増加させています。当農協でも昨年末の組勘精算で約九割の方々が収支マイナスとなっている現状は極めて深刻であり、今後取り組むべき課題の

多さ大きさに新年を迎え決意を新たにするところであります。

北海道酪農対策本部は、本年から三年間の第七期生乳安定生産対策の名称を「北海道酪農生産体制強化対策」として、年率3%程度の「増産体制」を基本として、生産者の生産意欲の向上と経営安定につながる政策支援を含めた経営環境の整備並びに生乳の生産販売対応について、J Aグループ北海道として最大限の努力を払うこととしています。釧路丹頂農協としても、十八・十九年度には乳牛保留対策に取り組み、昨年はホクレンの酪農生産支援対策（十・十一月の受託乳量にkg 2円）に農協独自対策としてkg 1円を上乗せしました。本年一～三月も国の対策や乳業に求めた生乳出荷対策などで乳価上昇をはかっており、生産基盤を維持しながら四月以降の生乳生産の増強、経営の安定化に組合員皆様のご努力に大きな期待をしているところであります。

釧路丹頂農協も、本年定例総代会後は合併四年目に入っていく事となりますが、取り巻く環境の激変により、当初設定した農協事業運営目標はまだまだ道程半ばというところであり、組合員の合併効果の期待に応えられないというジレンマの日々であります。

昨年より策定の準備に取り組んでおります地域農業振興計画、J A中期経営計画の協議作業も本年の総代会への計画案の提出に向けて最終段階に入りますが、今後五年間の当農協の方向性を示す重要な案件となりますので、地区懇談会での説明協議等組合員皆様の理解と承認が得られるよう取り進めて参りたいと考えております。

苦難の道は続きますが、一人一人が農協に結集し、その組織力をもって立ち向えば希望の道は必ず開きます。

組合員皆様も経営を守り抜き、明日の発展につながる強い意志と希望を持って新年を迎えられた事と確信しております。

本年が輝かしい将来に向けた発展の年となり、ご家族お揃いで無病息災、平穏無事、幸福な一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



## 新年にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成二十一年の輝かしい新年をご家族の皆様とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

顧みれば、昨年の北海道農業は、春先に一部地域で降雹等被害がありました。米の作況指数一〇六をはじめ、畑作物も総じて良好な年でありました。生乳生産も前年度を上回る等生産者の皆様方の努力が結実した年でありました。これも偏に農家の皆様方のご努力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

経済動向では原油価格等が乱高下し、米国発の金融不況が世界経済を大混乱に陥れる等過去に記憶のないほどの一年でありました。

私も農業界も世界経済の影響を被り、農繁期における肥料・原油価格の高騰、そして、配合飼料の高騰は農業経営に深刻な打撃を受ける等激動の一年となりました。

また一方では、世界規模での食料不足問題が取上げられ、一部の発展途上国では暴動が起き、我が国においても国内における食料自給率の向上への国民意識の高まり、中国からの輸入食品の農薬混入問題、事故米の問題等食の安全が問われた年でもありました。

こうした中で、JAグループ北海道は、本道の経済界をはじめ道民とともにWTO農業交渉に対する要請を実施するとともに、肥料・燃油、配合飼料高騰に対する支援対策を要求し、政策実現を果たしたところであります。この政策によって、全道の農家経済の危機的な状況が回復されることが期待されますが、深刻な打

撃によって、脆弱となった生産基盤を回復するためには、長期的な農業政策の確立が求められており、今後ともJAグループ北海道の総力を挙げて一層の努力・尽力することを肝に銘じているところであります。

本年は、昨年からJAグループ北海道が提供しているテレビ番組「森崎博之のあぐり王国北海道」をはじめメディアを積極的に活用して、農業の現場から食卓へ情報を発信し、今後とも、安全・安心な農畜産物の供給を通じて、消費者の皆さんから信頼され、選ばれ、そして北海道農業を応援して頂けるような取組みを展開してまいります。

次にJA経営であります。JA合併事業については、推進重点ケースに対する最終推進年となっており、これらのケース実現に向けた取組みを推進することとしております。JAが組合員の期待に応え、そして地域で信頼され、貢献できる存在となるために経営の健全性の確保に向けた諸対策に取組んでいきます。

さらに、JAグループ北海道全体のコスト低減に向けて、連合会の子会社をはじめ農業関連団体の組織整備・機能強化に積極的に取組む所存であります。

最後に、米国発の金融不況による世界経済の低成長や、WTO農業交渉等国際化の波が、私も農業界にも本年大きな影響を与えることが懸念されます。今こそ、全道の農家組合員の皆さんをはじめ役員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開してこの苦境を打開することが必要であります。

本年も災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

成田 俊英

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

釧路丹頂農業協同組合も四年目を迎え、組合員の皆様の意識も合併時から一歩ふみだし、JAくしろ丹頂としての発言、行動が違和感なくなりつつあること大変うれしく思います。

又、JA職員も昨年の異動により、十数名が新しい地域、部署で組合員の皆様の要望に応えるべく体制をととのえておりますので、今後とも宜しく願います。

さて、一昨年をかえりみますと原油価格の高騰にはじまり、飼料・資材・食糧も投機の対象になり、最後には肥料価格の大幅な値上げに振り回された半年でありました。しかし、夏以降はアメリカのサブプライムローンから端を発した金融不安が一見我々には無縁の世界も、今日のグローバルな環境のなかでは無傷ではいられない状況にあります。

乳価につきましては、昨年十一月に二度目の平成二十年度・用途別原料乳価の期中改定があり、三月の乳価より飲用向一〇円、乳製品向四円引き上げの平均五・三〇円（kg）値上げで決定しております。二十一年度は久しぶりに、八十円代での増産型で搾乳できる乳価が当面担保されていますので、生乳増産よろしくお願いたします。

又、アメリカ発の不況も全世界経済の実態経済に影響を与え、百年に一度とも言われる不況にみまわれるなか、大型自動車の販売台数の落ち込みや、不況から原油の消費も世界的に大幅な減少により、原油価格の大幅な下落とバイオエタノールの不採算などから穀物価格も下落し、飼料価格にも当然反映され適正価格になると思います。しかし、日本の実態経済への影響はこれからであり、失業者の増加、個人所得減少などにより、消費減少は想像以

上になりつつあります。

私たち酪農家の生産物は牛乳、バター、チーズ、クリーム、牛肉（和牛も含む）など、どれをとっても高級食材であり、特に消費者の所得減少から牛肉の消費は大幅にダウンしています。又、国の和牛増産対策により、北海道など数県で増頭になっていることと、F<sub>1</sub>の回りがピークをむかえていることから枝肉相場が低迷し、肥育業者の収益を圧迫し、そのしわよせが我々繁殖農家価格に反映されていると思います。しかし、市場をみますと価格差が個体により倍にもなるケースが多々あります。いかに低コストでしかも高値で売れるか、JAくしろ丹頂としても育成技術の平準化に努め、所得確保に努めたいと思います。

又、食料自給率についてですが、穀物の価格上昇のときはこそって国内の生産を重視する発言がテレビや週刊誌のトップ記事でありましたが、いまはWTOなども自由貿易が世界経済の活性化に重要だと、のど元過ぎれば熱さ忘れず！でこの国は食料についての哲学がないの一言につき、いまこそ供給実績を作っておく必要があります。

世界の人口は増加の一途をたどり、反面水や農地は減少し、今以上に穀物は窮屈になることは長期的には誰もが否定しないでしょう。JAくしろ丹頂は、生乳生産や牛肉生産において、日本の食量供給基地としての期待と可能性をもった地域であることを認識し、安全・安心・高品質な農産物を消費者に届けることが、自らの所得向上につながりますので、農協組織を利用及び活用していただき、合併農協のメリットを享受できればと思います。

最後になりましたが、本年も組合員、各関係機関の皆様のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご家族皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

## 厳冬期の子牛の管理

いよいよ冬本番です。お宅の哺育牛の調子はいかがですか？

咳や下痢、発育不良などのトラブルはないでしょうか？

### ☆寒さに弱い子牛

搾乳牛は寒さに強く、マイナス二十五℃でも生活することが出来ます。しかし、生まれて間もない育成牛はとても寒さに弱く、プラス十三℃を下回るだけでストレスを受けてしまいます。(表一)

育成牛 (0~40日齢)	+13℃
育成牛	-5℃
乾乳牛	-14℃
搾乳牛	-25℃

(表1) 乳牛の限界温度(下限) この温度以下になると、生産性が極端に低下します。

### ☆寒さ対策

まず大切なことは、子牛の体温を奪う原因を減らすことです。次の『四つの寒さ』に注意して対策をとりましょう。

① 気化熱…体が濡れていると体温を奪われる

② 対流熱…体にすきま風があたると寒い。

③ 輻射熱…冷たいコンクリや鉄板の近くにいと寒い。

④ 伝道熱…コンクリや鉄板を直接さわると冷たい。

### 事例一(写真一)

ハッチに敷き料を多めに入れ、絶えず乾いた状態にします。

(① 気化熱対策・④ 伝道熱対策)



(写真1) ハッチに敷き料を多めに入れ、毎日メンテナンスをする。

### 事例二

旧牛舎を改造したペンです。

横壁にコンパネを打ちつけ、すきま風が直接子牛に当たらないよう

にします。(② 対流熱対策)



(写真2) 改善前、横の壁が板なので、ペン全体を風が通り抜けてしまう。



(写真3) 改善後、横壁にコンパネを貼る。上にもコンパネを横向きに乗せる。

### 事例三

フリーバーン牛舎は空間が広いので、一部に覆いをつけて保温します。(② 対流熱対策)



(写真4) フリーバーン牛舎の一部に覆いをつけて日中・夜間の温度差を緩和するための開放換気。

### 事例四

壁から冷気が伝わってくる場合は、コンパネやスタイロフォームを貼って防ぎます。

(③ 輻射熱対策・④ 伝道熱対策)

### ☆換気

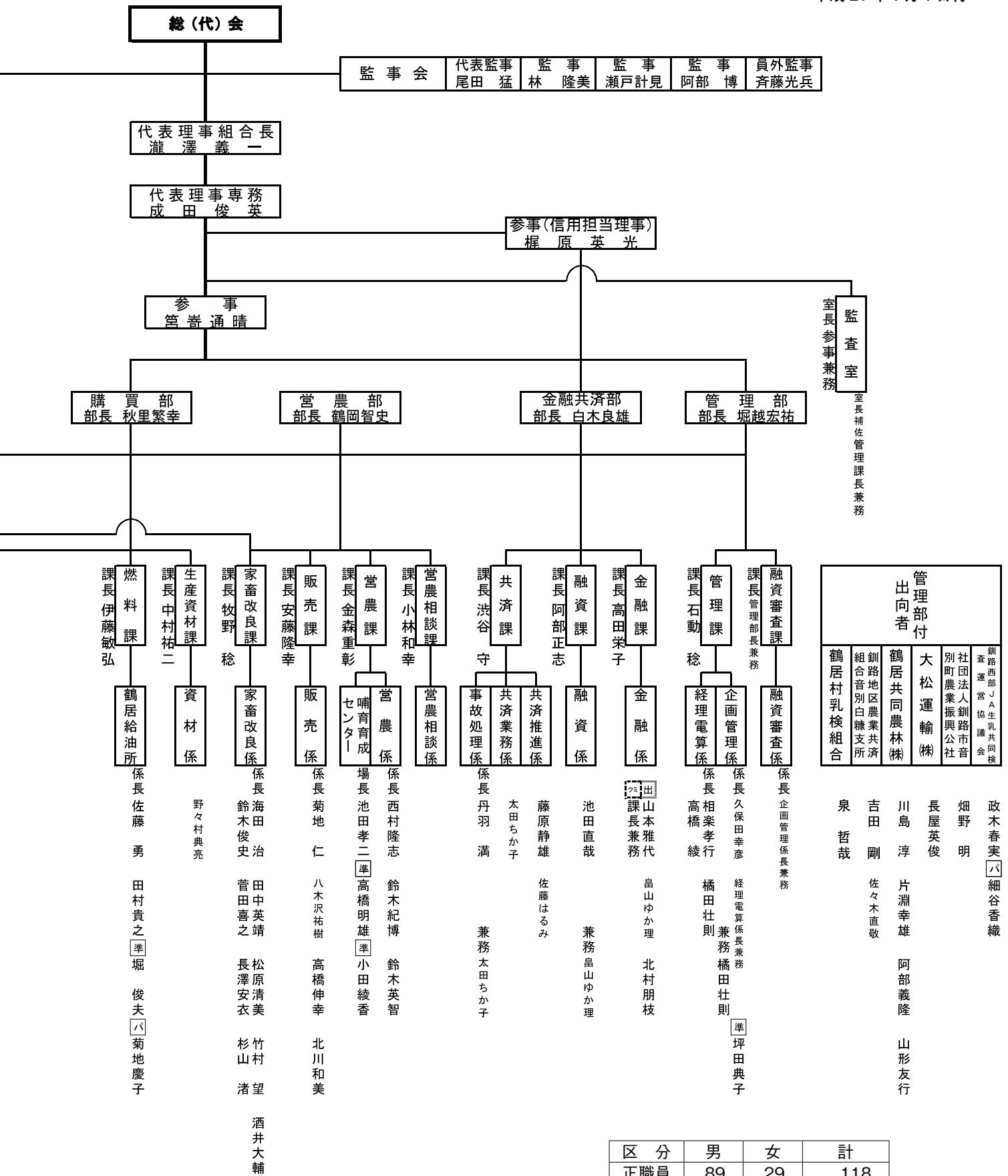
子牛の保温を重視するあまりに換気が悪く、結露している牛舎を良く見かけます。換気が悪いと湿気やアンモニアが溜って、かえって子牛に悪い影響が出てしまいます。湿気は牛の体温を奪い、アンモニアは子牛の呼吸器系の粘膜を攻撃します。

事例二や三のように建物の中で育成牛を管理する場合は湿気がこもりがちです。寒い冬ですが、天気の良い日中は、窓や戸を開けて換気をとりましょう。

### ☆ご相談ください

厳冬期の換気・寒さ対策は、農場によっていろいろな工夫をすることが出来ます。詳しくは農業改良普及センターまでご相談ください。

(釧路農業改良普及センター 中西部支所)



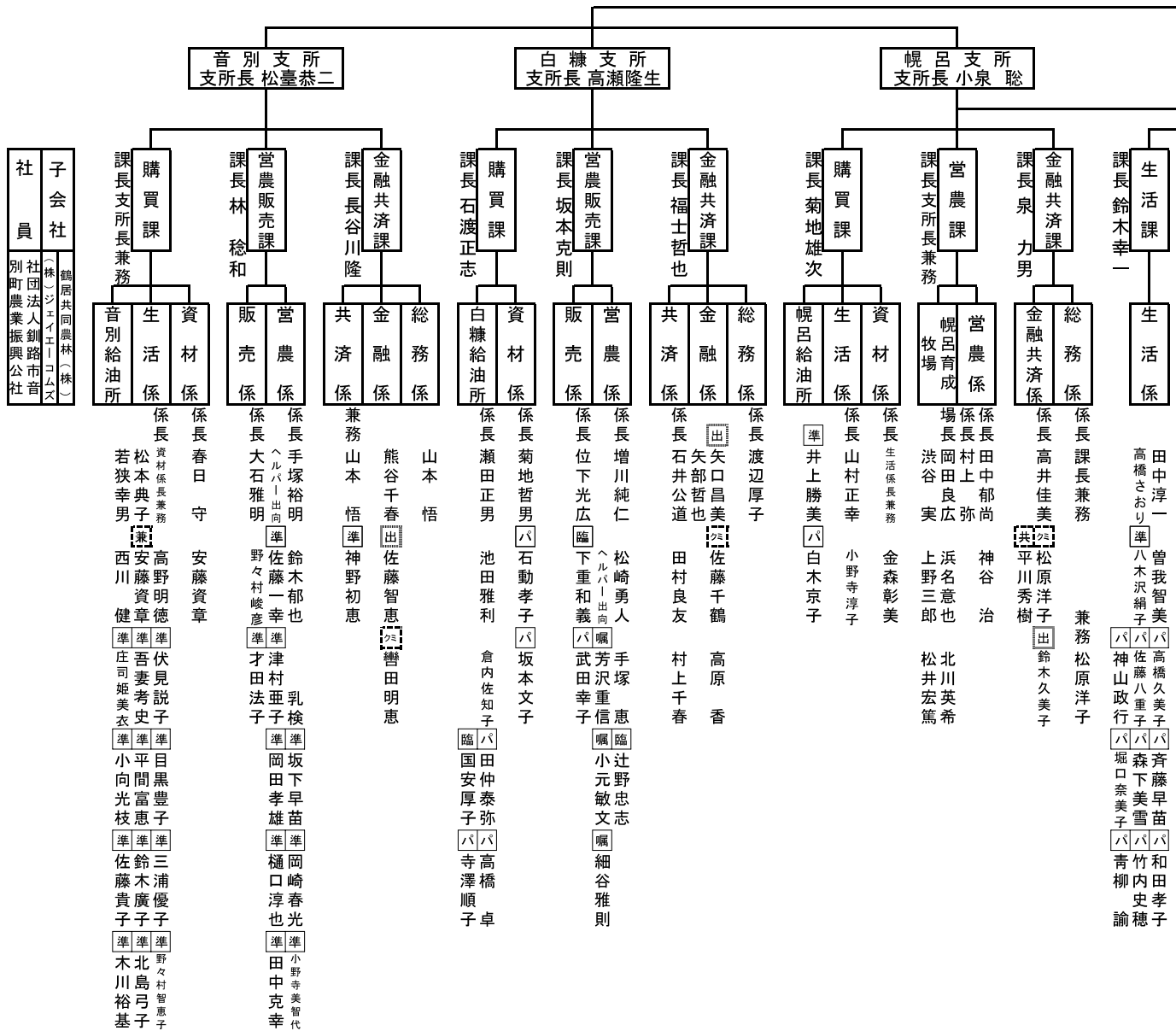
# JAくしろ丹頂組織機構図

瀧澤義一 高橋達雄	成田俊英 斉藤 滋	大和田克清 對木範誓	大裕理男 芳沢改治	井出清澄 松井俊治	地区代表理事 植田晃雄	地区代表理事 田井 愷	学識経験理事 梶原英光	理 事 会
--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	----------------	----------------	----------------	-------

管理金融共済委員会  
委員長 對木範誓

當農經濟委員会  
委員長 大裕理男

融資協議会  
委員長 大和田克清



# JAくしろ丹頂 年始休業予定表

部門 年月日	各地区の事務所			販 売			家畜改良	生乳	哺育育成センター	幌呂育成牧場
	管理本所共済	金融共済	営農	鶴居・幌呂	白糠	音別	鶴居・幌呂			
平成21年1月1日(木)								通 常 業 務		
1月2日(金)										
1月3日(土)										
1月4日(日)										
1月5日(月)		業務始め								
1月6日(火)	業務始め		業務始め	業 務 始 め						
1月7日(水)				初生集荷	初生集荷	初生集荷				
1月8日(木)				定期市場（初セリ）						
1月9日(金)										

購買	鶴 居			幌 呂			白 糠		音 別		
	生活店舗	給油所	資材	生活店舗	給油所	資材	給油所	資材	生活店舗	給油所	資材
1月1日(木)											
1月2日(金)											
1月3日(土)		業務始め			業務始め*						
1月4日(日)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1月5日(月)									午後6時まで		
1月6日(火)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め
1月7日(水)											
1月8日(木)											
1月9日(金)											

\*午前中のみ営業

営業日

休業日

- ・1月6日については、職員の新年交礼会につき、全業務午後4時を以って終業とさせていただきます。
- ・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル(0120-258931)に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。
- ◆鶴居地区の皆様へ
  - ・生産資材に関する場合は、中村(64-2954)に連絡して下さい。
  - ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸(57-8388)に連絡して下さい。
- ◆幌呂地区の皆様へ
  - ・生産資材に関する場合は、菊地(65-2207)に連絡して下さい。
  - ・給油スタンドに関する場合は、菊地(65-2207)に連絡して下さい。

- ・万一、配合飼料が無くなった時は、北釧運輸(23-7680)に連絡して下さい。
- ◆白糠地区の皆様へ
  - ・生産資材に関する場合は、石渡(自宅2-3515 携帯090-3396-0623)に連絡して下さい。
  - ・給油スタンドに関する場合は、給油所(2-2084)に連絡して下さい。
  - ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。
- ◆音別地区の皆様へ
  - ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
  - ・生産資材に関する場合は、春日(6-2020)に連絡して下さい。

緊急以外はご容赦下さい。

## 平成20年度 生乳生産実績(11月)

	月計乳量(kg)	11月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,077,551.3	106.3	67,888,102.1	104.4
(鶴居地区)	2,591,477.2	107.1	22,051,269.7	106.7
(幌呂地区)	2,220,739.3	107.1	18,381,565.0	105.2
(白糠地区)	1,895,310.1	105.0	15,780,404.6	100.4
(音別地区)	1,370,024.7	105.1	11,674,862.8	104.5
管内計	42,496,987.9	102.8	360,287,224.2	102.6
(平成19年度管内計)	41,343,660.6		351,105,039.3	

### 編集後記 EDITOR'S NOTE

- 新年あけましておめでとうございます。今年も酪農業界では、様々な動きがあるものと思われます。その中に、今年の春から乳価の改定が予定されておりますが、乳量増産体制へ向けての足固め、または経営の質的向上が望まれる所です。そして、この乳価改定を各組合員個々の酪農形態に順応させるかたちで、今後の経営により良く反映させていくことを強く望んでおります。
- 今年の干支は「牛」ですが、酪農業界及び皆様方にとりましても良い年となりますよう心から願っております。本年も、JAくしろ丹頂をよろしくお願ひ致します。